



JAMCA ニュース

No.91

2016 年 10 月 1 日

発行
協会事務局

全国自動車大学校・整備専門学校協会

〒160-0015 東京都新宿区大京町 31

ウィップ新宿御苑 ☎ 03-3356-7066

〒125-0002 東京都葛飾区西亀有 3-28-3

☎ 03-3601-2535 FAX 03-3601-2988

ホームページアドレス <http://www.jamca.jp/>

編集事務局

新技術対応を含めた、より魅力を持つ 1級資格教育への革新が必要

ホンダテクニカルカレッジ関東 常務理事
全国自動車大学校・整備専門学校協会理事

加藤 正毅



車の進化と整備士

大震災や痛ましい交通事故の報道を受け、環境と安全への意識の高まりから電動パワーユニットや運転支援システム搭載車両が急速に普及しています。HV車の保有台数は、全国で470万台(平成27年)となり、乗用車では8%、新車では21%を占めています。将来技術と言われた燃料電池車も一般販売が開始されました。また、初めての運転支援システムとしてのABS搭載から約40年を経て、衝突軽減ブレーキ、誤発進抑制機能等が実装され、完全自動運転の実現も視野に入ってきました。それは智能化されたコンピュータがバイワイヤ化された車両を操縦し周囲とコミュニケーションをとる、まさにロボット同様のクルマです。自動運転のシステムは、社会活動の効率化の観点から、実現すれば都市や地方を問わず急速に広がるものと考えます。「将来的には家庭用ロボットの整備士が必要」と捉えていましたが、これからの1級整備士は、高度な電子制御や情報技術を身につけ、全国のお客様の安心安全を守る今以上のサービスを担うこととなります。

一級整備課程の現状

JAMCA 会員校の本年度一級整備士4年課程への入学者は1121名と初めて前年より減少(4%)に転じ(JAMCA 調査)、新たな魅力創りが求められています。背景には景気低迷による学費負担難と難関資格に見合わない職場での待遇という業界の課題があります。一級整備課程の学生の志は高く、特に有資格者となる3年生からの自負をもった活動は後輩の目標になっていますが、昨今は難易度が増す筆記試験への対応に時間を要し、新技術や故障探求の実践的な訓練が不足気味です。

社会に求められる 一級整備課程とするために

「整備の学校では資格は取れても技術は学べない」とは、ネット上の書き込みです。学生は皆、最新技術の習得を願っています。技術の習得には、一つひとつの実体験の積み上げが必要であり、日進月歩の新技術の一部でも基盤となる技術に触れる機会を増やすことで、生涯自ら学び続ける力が養われると考えます。

また就職先 CS 調査から、企業

は知識や技術以上に人と人との繋がりを創る人間力を期待しています。「人と人との交流によって、新しい技術とアイデアを生み出し、新しい社会を創り出していくことが最も重要である」と弊校創設者の本田宗一郎氏は語りました。人間力の育成には、学生が自主的に楽しんで取り組む課題研究活動やクラブ活動等が大切と考えます。他大学の海外ヒストリックラリーへの共同参加や鈴鹿8耐への参加は学生達を人間的に成長させています。

親として我が子が学校で楽しく学び自立することは最大の喜びであり、それを託された責任と誇りを教職員全員が反芻して取り組む必要があります。願わくは「整備業界を改革し新サービスを創りだす」人材を輩出し続けたいと考えています。

JAMCA 加盟校の皆さんと共に弊校もこの方向性を目指して切磋琢磨すると同時に、その連携にいささかなりとも貢献したいと考えています。

CONTENTS

2 面	自動車の低炭素社会におけるエンジンオイルの在り方
3 面	クルマ大好き!、活躍!! 卒業生
4 面・5 面	自動車を取り巻く新しい環境について～高齢化社会における自動車の動向～
6 面・7 面	協会トピックス・地区通信
8 面	私の教材活用・お知らせ・編集後記